

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成21年8月20日(2009.8.20)

【公開番号】特開2007-58217(P2007-58217A)

【公開日】平成19年3月8日(2007.3.8)

【年通号数】公開・登録公報2007-009

【出願番号】特願2006-225897(P2006-225897)

【国際特許分類】

G 0 9 G 3/36 (2006.01)

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

G 0 2 F 1/133 (2006.01)

【F I】

G 0 9 G 3/36

G 0 9 G 3/20 6 2 1 F

G 0 9 G 3/20 6 2 3 R

G 0 9 G 3/20 6 2 3 Y

G 0 9 G 3/20 6 4 1 G

G 0 9 G 3/20 6 4 1 C

G 0 9 G 3/20 6 4 1 K

G 0 9 G 3/20 6 4 1 R

G 0 9 G 3/20 6 6 0 V

G 0 2 F 1/133 5 5 0

【手続補正書】

【提出日】平成21年7月6日(2009.7.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

行列状に配列された、第 1 及び第 2 サブ画素を含む複数の画素、  
前記第 1 サブ画素に接続された、第 1 ゲートオン電圧を伝達する複数の第 1 ゲート線、  
前記第 2 サブ画素に接続された、第 2 ゲートオン電圧を伝達する複数の第 2 ゲート線、及  
び

前記第 1 及び第 2 サブ画素に接続された、第 1 及び第 2 データ電圧を伝達する複数のデータ線

を含み、

前記各画素の第 1 及び第 2 サブ画素に各々印加される前記第 1 及び第 2 データ電圧は一つの映像情報から得られ、前記第 1 データ電圧は前記第 2 データ電圧より低くなく、  
前記第 1 データ電圧を前記第 1 サブ画素に印加する前に前記第 2 データ電圧を前記データ線にプリチャージすることを特徴とする表示装置。

【請求項 2】

前記第 2 データ電圧を前記データ線にプリチャージする前にインパルスデータ電圧を前記データ線に印加することを特徴とする請求項 1 に記載の表示装置。

【請求項 3】

前記第 2 データ電圧のプリチャージは少なくとも 2 水平周期ごとに行われることを特徴とする請求項 2 に記載の表示装置。

**【請求項 4】**

前記第 2 データ電圧のプリチャージは、前記インパルスデータ電圧が印加された水平周期のブランク区間から開始することを特徴とする請求項 2 に記載の表示装置。

**【請求項 5】**

前記インパルスデータ電圧は前記データ線を互いに接続して得られることを特徴とする請求項 2 に記載の表示装置。

**【請求項 6】**

前記インパルスデータ電圧が前記データ線に印加されれば、複数の画素行の第 1 及び第 2 ゲート線に前記第 1 及び第 2 ゲートオン電圧を同時に各々印加することを特徴とする請求項 2 に記載の表示装置。

**【請求項 7】**

前記第 1 ゲートオン電圧の印加時間と前記第 2 ゲートオン電圧の印加時間とは少なくとも一部分が重畳することを特徴とする請求項 2 に記載の表示装置。

**【請求項 8】**

前記第 1 ゲートオン電圧の印加時間は前記第 2 ゲートオン電圧の印加時間より短いことを特徴とする請求項 2 に記載の表示装置。

**【請求項 9】**

互いに異なる第 1 及び第 2 階調電圧集合を生成し、前記映像情報に該当する階調電圧を前記第 1 及び第 2 階調電圧集合から各々選択して、前記第 1 及び第 2 データ電圧として前記第 1 及び第 2 サブ画素に各々印加することを特徴とする請求項 1 に記載の表示装置。

**【請求項 10】**

第 1 の M 個（M は自然数）の画素行の第 1 及び第 2 サブ画素に前記第 1 の M 個の画素行の第 1 及び第 2 データ電圧を交互に順次に各々印加した後、第 2 の M 個の画素行の第 1 及び第 2 サブ画素にインパルスデータ電圧を同時に印加することを特徴とする請求項 1 に記載の表示装置。